

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	香蘭女子短期大学
設置者名	学校法人 山内学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	ファッション総合学科	夜・通信			32	32	7	
	食物栄養学科	夜・通信			17	17	7	
	保育学科	夜・通信			21	21	7	
	ライフプランニング総合学科	夜・通信			30	30	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/jitsumu-professor01.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	香蘭女子短期大学
設置者名	学校法人 山内学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師・病院名誉院長	2022. 4. 1～2026. 3. 31	ガバナンス強化
非常勤	会社経営	2022. 4. 1～2026. 3. 31	財務改善の助言
非常勤	弁護士	2022. 4. 1～2026. 3. 31	コンプライアンス 体制の整備
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	香蘭女子短期大学
設置者名	学校法人 山内学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(シラバスの作成過程)</p> <p>到達目標、成績評価の方法等全ての項目の方針を記したシラバス執筆要領を全専任教員・非常勤講師に配布。</p> <p>(シラバスの作成・公表時期)</p> <p>10月に当該年度のシラバスを学科においてチェック。修正箇所があれば、12月の依頼時に合わせて伝達。</p> <p>12月学生支援課より授業担当者に新年度シラバス原稿の依頼。</p> <p>1月下旬～2月に上旬にかけ、教務委員長を中心に各学科でチェック。</p> <p>3月下旬に完成、4月学生配付。</p> <p>5月に本学WEBサイトにて公表。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/FA-2023.pdf</p> <p>https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/FO-2023.pdf</p> <p>https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/CC-2023.pdf</p> <p>https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/LP-2023.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の単位の認定および評価、単位認定試験の受験資格は学生便覧に記載。</p> <p>各学生の学習成果に基づき、秀(90点以上)、優(80～89点)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(59点以下)の評価を用いて厳格かつ適正に単位を授与している。</p> <p>また、シラバスにおいても評価方法と評価基準の欄を設け、評価のウェイトを予め明示している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標としてGPAを利用している。 算出方法は以下の通りであり、学生便覧にも載せ、ホームページにも公表している。</p> <p>秀(90点以上)をGP4、優(80~89点)をGP3、良(70~79点)をGP2、可(60~69点)をGP1、不可(59点以下)・出席時間不足をGP0とし、GPAを算出している。</p> <p>GPA = (履修登録科目のGP×単位数)の合計/履修登録総単位数</p> <p>また、客観的な指標に基づく成績状況として、GPAの分布と下位1/4を示した資料もホームページにて公開している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/credit-02.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全ての学科において学位授与の方針(ディプロマポリシー)を策定している。また、卒業の認定にあたっては全ての学科において修得単位数が設定され、卒業認定会議を経て卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure.pdf

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	香蘭女子短期大学
設置者名	学校法人 山内学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/r4.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/r4.pdf
財産目録	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/r4.pdf
事業報告書	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/r04_b.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/r4.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法
https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/r2_jikotenkenhyoukahoukokusho.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/evaluation-by-period.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	ファッション総合学科、食物栄養学科、保育学科、 ライフプランニング総合学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure.pdf ）	
（概要） 全学的な使命（ミッション）を掲げ、そのミッションに沿った教育目標を各学科で設定している。 ■全学＝「建学の精神のもと、社会の中堅として、指導的役割を果たす有為な女性の育成」 ■ファッション総合学科＝「ファッション業界で活躍できる技術力を養う。」「総合的なファッション知識を深める。」「ファッション教育を通して人間力を育成する。」 ■食物栄養学科＝「栄養士が果たすべき専門職務や立場を十分に理解させる。」「栄養士に必要な知識、技能、態度および考え方の総合的能力を養う。」「栄養の指導や給食の運営を行うために必要な実践的能力を養う。」「食と健康の専門科目の学習を通して、自活力や生活力を兼ね備えた社会に貢献できる教養ある人を育成する。」 ■保育学科＝3つの心を育む。「自己の成長を願う心。」「他者の成長を喜ぶ心。」「社会の役に立つことを願う心。」「4つの感性を涵養する。「学びの感性＝学びに対する意欲を持つ。」「交流の感性＝積極的に人と交流できる力を持つ。」「情報の感性＝必要な情報を収集できる力を持つ。」「仕事の感性＝仕事への情熱と誇りを持つ。」 ■ライフプランニング総合学科＝「自己をよりよく知ると同時に、他者との関係において自らの適性を見出し、豊かな未来の設計図（ライフプランニング）を描ける人材を育成する。」「地域の歴史や産業との関わりを理解し、地域で活躍するための知識や技術を磨き、様々な状況に応じてコミュニケーション力を発揮できる人材を育成する。」「多様な分野の学習から得られる幅広い教養をもとに、確固とした人生観を形成し、自らのキャリアについて認識を深め、社会において有益な情報を発信できる人材を育成する。」	
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure.pdf ）	
（概要） 全学の方針は、「建学の精神から導かれた“創意・自立・敬愛”の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけ、所定の単位を修得し、各学科が定めたディプロマ・ポリシーを満たした人に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する」である。全ての学科において学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を策定している。また、卒業の認定にあたっては全ての学科において修得単位数が設定され、卒業認定会議を経て卒業を認定している。	
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure.pdf ）	

<p>(概要)</p> <p>全学の方針は、「“創意・自立・敬愛”の学訓の精神を涵養し、専門知識および技能を身につける。学訓の精神は教養科目と専門科目に渡って涵養する。履修した授業科目の学習成果は、筆記試験、レポート、実技、作品、またはこれらの組み合わせにより評価・査定する。」である。また、全ての学科において教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を策定し、実施している。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure.pdf）</p>
<p>(概要)</p> <p>全学的な方針を策定し、各学科でも入学受入れ方針を策定し、実施している。</p> <p>■全学＝本学の学訓が「創意・自立・敬愛」であることを十分に理解したうえで、入学後、本学の学生としての教養と専門知識および技能を身につける意欲がある人の入学を求める。</p> <p>■ファッション総合学科＝①入学後の就学に必要な基礎学力を有している人、②自らの感性と、その技術を高める意欲のある人、③服飾造形やファッションビジネスに関心があり、ファッションのことをもっと広く・深く学び、その知識や技術を社会や産業界で活かしたいと考えている人、④何事もあきらめずに努力し、自己の可能性に挑戦する意欲のある人、⑤地域社会とのかかわりに積極的に参加し取り組むことができる人</p> <p>■食物栄養学科＝①栄養士の仕事を通して社会に貢献したい人、②「食」に興味があり、栄養士の仕事との関わり合いが深い食生活の改善や健康・増進と、併せ調理技術向上を目指したい人、③現実社会で生き抜くための基礎的なマナーが身につけており、規則正しいライフスタイルが確立されている人、④食生活の偏りに起因する生活習慣病に対して、栄養士として問題を積極的に解決しようとする志を抱いている人</p> <p>■保育学科＝①子どもが育つことに興味を持っている人、②さまざまなことに率先して取り組むことができる積極的な構えを持っている人、③保育者としての信念と誇りを持てる人、④自分を大切に生き生きと行動できる人</p> <p>■ライフプランニング総合学科＝①本学の学訓と教育目標を理解し、その実践への意欲を持つ人、②学科の仕組みを理解し、4学期制での学習に勤しむ人、③選んだメジャーで専門科目を学び、知識と技能の向上を目指す人、④多くの人と関わり、社会についての見識を深めたい人</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure02.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					1人
ファッション総合学科	－	2人	3人	1人	1人	1人	8人
食物栄養学科	－	1人	3人	1人	0人	3人	8人
保育学科	－	4人	3人	3人	0人	5人	15人
ライフプランニング総合学科	－	4人	3人	2人	0人	3人	12人

b. 教員数（兼務者）		
学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	70人	70人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：	
	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure-professor-fashion.pdf	
	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure-professor-foods.pdf	
	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure-professor-hoiku.pdf	
	https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/disclosure-professor-life.pdf	
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）		

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ファッション総合学科	80人	76人	95.0%	160人	162人	101.3%	人	人
食物栄養学科	80人	39人	48.8%	160人	83人	51.9%	人	人
保育学科	150人	67人	44.7%	300人	132人	44.0%	人	人
ライフプランニング総合学科	150人	138人	92.0%	300人	277人	92.3%	人	人
合計	460人	320人	69.6%	920人	654人	71.1%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ファッション総合学科	55人 (100%)	12人 (21.8%)	29人 (52.7%)	14人 (25.5%)
食物栄養学科	54人 (100%)	1人 (1.9%)	47人 (87.0%)	6人 (11.1%)
保育学科	91人 (100%)	0人 (0%)	83人 (91.2%)	8人 (8.8%)
ライフプランニング 総合学科	120人 (100%)	1人 (0.9%)	94人 (78.3%)	25人 (20.8%)
合計	320人 (100%)	14人 (4.4%)	253人 (79.1%)	53人 (16.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
授業科目においてはシラバス作成段階で到達目標、成績評価の方法等全ての項目の方針を記したシラバス執筆要領を全専任教員・非常勤講師に配布し、チェックを行っている。年間の授業回数確保のために、代表教授会において年間スケジュールを作成している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
各学科において学習成果を定め、評価している。卒業に関しては、全学・各学科の学位授与の方針（ディプロマポリシー）に沿って卒業認定会議を経て認定している。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	ファッション総合学科	66 単位	有	半期 30 単位
	食物栄養学科	62 単位	有	半期 30 単位
	保育学科	66 単位	有	半期 30 単位
	ライフプランニング総合学科	64 単位	有	半期 30 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/credit-02.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/learn_time01.pdf https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/learn_time02.pdf https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/learn_time03.pdf https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/learn_time04.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.koran.ac.jp/campuslife/campusmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	ファッション総合学科	630,000円	250,000円	325,000円	設備維持費・実験実習諸費
	食物栄養学科	630,000円	250,000円	335,000円	設備維持費・実験実習諸費
	保育学科	630,000円	250,000円	324,000円	設備維持費・実験実習諸費
	7i7p ランニング 総合学科	630,000円	250,000円	319,000円	設備維持費・実験実習諸費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学独自の奨学生制度 (給付型・返還不要)</p> <p>① S 特待奨学生：2 年総額 (最大) 40 万円給付 ② A 奨学生：15 万円給付</p> <p>③ 一般社会人奨学生：2 年総額 20 万円給付 ④ 地域総合科学科社会人奨学生：2 年総額 20 万円給付</p> <p>⑤ ダブルディグリー奨学生：総額 50 万円給付</p> <p>※詳細は https://www.koran.ac.jp/pdf/about/docs/scholarship.pdf を参照。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>就職と進学に大別し支援。全般的な就職については「就職推進委員会」を中心に、具体的な支援行事や企画内容の立案、個別のキャリアカウンセリングは、「キャリアセンター」が学生支援課キャリア・生活支援担当職員と連携しながら担っている。就職推進委員会では、学科から選出された委員 (教員) と学生支援課キャリア・生活支援担当職員からなる委員で構成される委員会。学内の全体的な就職指導を企画検討し推進していく。キャリアセンターは、就職推進委員長がキャリアセンター長を兼務し、学生支援課キャリア・生活支援担当職員と常に連携し、インターンシップや就職ガイダンス、ミニ講座等を企画立案して学生のニーズに合った支援をしている。進学支援については、学生支援課教務支援担当職員が窓口となり進学・編入学等の情報提供・指導を行っている。必要に応じ、各クラス担任が編入学試験対策の相談・指導を行っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>毎年 4 月に健康診断を実施。保健室も設置しており、体調不良者の対応を行っている。また、学内にカウンセリングルームを設置し、学生のメンタルな相談に対応。専門の臨床心理士 (非常勤) が対応に当たっている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：https://www.koran.ac.jp/about/disclosure/research.html</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F240310110999
学校名	香蘭女子短期大学
設置者名	学校法人 山内学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		139人	124人	143人
内 訳	第Ⅰ区分	75人	66人	
	第Ⅱ区分	36人	41人	
	第Ⅲ区分	28人	17人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				143人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	—
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		—	—
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		20人	11人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		—	—
計		21人	16人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。